

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グッドスマイル朝倉			公表日		2025年2月11日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点		
		はい	いいえ					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性を配慮し、個別活動などを提案している。 パーテーションで区切り等して個人スペースの確保に注力している。 外出や体育館などを使用し楽しく児童が過ごせる工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別活動が増えるため、職員間での情報共有の仕方にも工夫が必要。 支援スペースとしては広さが足りない場面もある(運動面)ため、体育館などを借りるなどしている。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 児童の状態に合わせて、職員配置を増やすなどして対応している。 施設の構造状、職員が児童の状況を確認しやすい。 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 児童に合わせて環境設定を考えて、実施している。 暗室や防音室を設置、構造化している。 視覚的に児童に伝わるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーではない。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃で、チェックしている。 個別スペースに限りがあるため、交代したり譲り合って学びの場としている。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 環境設定を行っている。 			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> しっかりと出来ている(参加出来ている)とは言えない部分もあり、職員が参画しやすいように調整している。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 評価表だけでなく、個別にアドバイスを頂いた時に話し合う場(職員会やケース会など)を設けて、改善している。 HPIに記載している。 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 職員会、個々での面談等の機会がある。 朝礼、終礼でも意見を出す場を設けている。 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 系列会社および同グループと連携を取って、評価・改善に向けて取り組んでいる。 			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 確保されている。 			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 作成後、情報の共有が行われている。 			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・利用児童に合わせた支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・スケジュール組み立ての際、相談、共有を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・朝礼・終礼にてチームの話し合いの場を持ち、意見の抽出をしている。 ・交代で担当して、スケジュールを組むようにしている。 ・児童の状況、状態に応じて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・訪問支援専門員や、学校、家族の情報を加味して、個別・集団の必要性を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼時に周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・日々の終礼で振り返り、確認、共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・ケースの記入等を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・実施出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1	・地域交流の機会が少ないが、他は組み合わせた支援が出来ている。 ・外部の催し（文化祭など）に参加させてもらう等、機会を増やしている。	・地域交流に関しては、まだ少ないと思う。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・スケジュールの中で、選択する場面を設けている。 ・職員で話しあって、工夫している。 ・選択の必要性、選択のスキル評価を実施後、スケジュールを通し、子ども自身、またはパートナーが理解出来る共通ツールにて支援を行っている。 ・絵カード等による意思表示により、自己決定能力の向上が図られている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・必要に合わせ、人選を検討している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・訪問支援員や相談支援員、ご家族様との情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・事業所等から事前に見学の希望があれば、積極的に受け入れ、必要に合わせ作成したツールを引継ぐなどとしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・研修等を職員周知し、希望や必要に応じて受講している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・同グループの保護デイと合同行事等を行っている。 ・児童クラブを使用している児童に会わせて、情報共有を行っている。	・実施回数が少ないため、来年度は計画的に行えるように検討していく。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が出来る限り参加に努めている。 ・必要に合わせ、人選を検討している。 	・管理者以外が行く機会がほぼない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの勉強会や見学会を催している。 ・研修等を計画する部署を設置して、計画を行っている。 	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・定期的に面談を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の希望に合わせ、スケジュールリングを行っている。 ・連絡帳やLINE、電話で連絡を取り合っている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事の中で、計画し保護者会を実施している。 ・運動会、遠足、小集団のSSTなど。 	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情マニュアルの周知をしている。 ・職員間ですぐに対応を話し合い、管理者が保護者に連絡するなどして対応している。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・年間行事や月間の行事予定を配布し、行事前には再度、LINE等で伝達している。	・定期的な発信は出来ていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・口頭以外でも視覚ツールやリマインダーを活用できるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・障がい者センターでの催しに参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・定期的に行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練及び防災用具の確認を行っている。 ・マニュアルに沿って実施している。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・対応マニュアルの記載、年に1回、救急訓練の実施を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では利用児童にしないため、対応していない。 ・利用児童がいる際には、医師と連携して対応方法の統一を図る。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時連絡網を整備している。 ・HPIに記載している。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・当日～3日以内に対策の検討を行っている。 ・同グループ内でも情報を共有している。 	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・計画書内に記載を行っている。	